

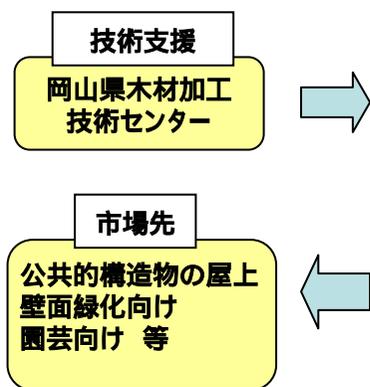
地域	鳥取県鳥取市	認定日	平成19年2月22日	6 - 18 - 018
事業分類	製造(その他の製造業)	テーマ分類	リサイクル	

事業名: 針葉樹皮リサイクルによる新素材「環境緑化ボード」の開発・販売

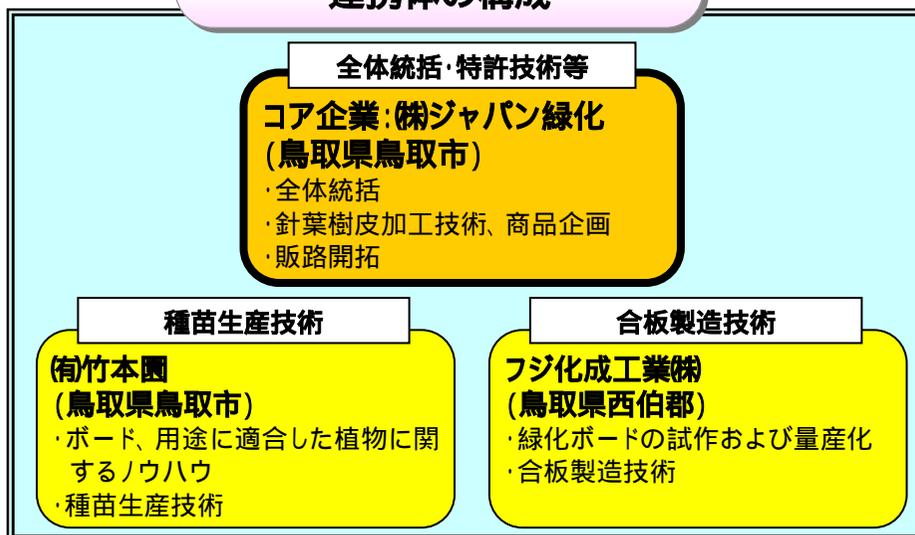
事業概要(新規性、市場性等)

- 針葉樹(杉・檜など)の製材過程で大量に発生する樹皮は、殺菌・殺虫性等の特性を有しているものの、現状では活用用途が無く、水分を含んでいることから焼却処分にも苦労しているのが実情。
- また、地球温暖化対策や景観への配慮から建築物等の屋上緑化、壁面緑化に対するニーズは増大しつつある。このうち壁面緑化については、土入りブロックを壁面に貼り付ける方法や弦を垂らしてツル状の植物を植生する方法等があるが、建造物への負荷や植物が限定されるとともに、煩雑なメンテナンスが必要でコスト高になる等の課題があり、普及の制約要因となっている。
- 本事業では、殺菌・殺虫性を有する針葉樹皮を活用することで、低コストで軽量かつ腐敗しにくく形状維持特性にも優れた「環境緑化ボード」を製造・販売する。
- 公共的構造物の壁面緑化を主たる市場ターゲットとしながら、屋上緑化や個人向けの園芸グッズとしても展開。

事業推進体制



連携体の構成



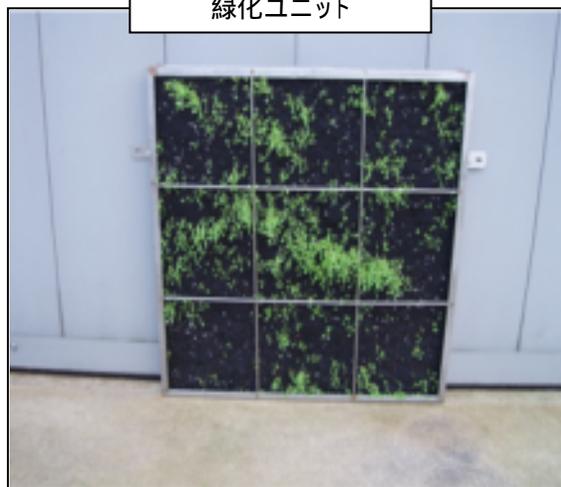
支援予定メニュー

補助金
低利融資(中小公庫)

環境緑化ボード



緑化ユニット



連携のきっかけ、特徴

- ・針葉樹皮(杉・檜)の製材過程で大量に発生する樹皮は、殺菌・殺虫性等の特性を有しているものの、現状では使用用途がなく、また水分を含んでいることから焼却処分にも苦労しているのが実情であった。そうした中、当社は針葉樹皮からなる多目的緑化資材「E - ソイル」製造技術を有し、土壌改良、校庭・屋上緑化、雑草抑制工法等で実績をあげていた。
- ・折りしも、地球温暖化対策やヒートアイランド現象緩和、景観への配慮から建築物等の屋上緑化および壁面緑化に対するニーズは増大しつつある。このうち壁面緑化については、土入りブロックを壁面に貼り付ける方法や弦を垂らして植物を植生する方法があるが、建造物への負荷や植物が限定されるとともに、メンテナンスが煩雑になりコスト高になる課題があり、普及の制約要因となっていた。
- ・そこで、当社のコア技術である「E - ソイル」技術を基軸に、連携先の合板製造技術の融合により研究開発を重ねてきた結果、低コストで軽量かつ腐敗しにくく形状維持に優れた「環境緑化ボード」の開発に成功した。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社ジャパン緑化 代表取締役 小林 清	
所在地	鳥取県鳥取市鹿野町鷲峰234	
創業	平成12年4月	
資本金・従業員数	4,500万円	14名
業種	製造業、FC本部事業	
T E L	0857-84-6000	
F A X	0857-84-6030	
ホームページ	http://www.japan-ryokka.co.jp	
e - m a i l	kobayashi@japan-ryokka.co.jp	

PR等その他の情報

ジャパン緑化は

全国へ環境技術を提供するFC本部です。
全国の地域環境創造を目指し、環境技術・商品を提供しています。
Japan Venture Award 2006 地域貢献賞を受賞致しました。
新連携事業により、更なる地域環境創造・地域貢献を目指します。